



「な行」の天草方言 「天草方言集 鶴田 功著」

…な …しないか 「来んかな せんかな」  
…な …するな 「行くな 見んな」  
…な …ですね 「良かもんな」  
…な …は 「銭ナ無か」  
…な …はどうした 「忘れ物な？」 念を押すことば  
…な …なー …しますか …ですか 「行くかな 本当かな」  
…なー …なのか 「良かなー」  
…なー …ねえ 「あんなー」 呼び掛けのことば  
なーご なごう なごうに【長く】  
なーし なして【何為】why 何故 どうして  
なーなー 暗黙の了解 いい加減 ②慣れっこ  
なーんなか 何もない  
なーんもござっせんばって なーんもなかばって 何の持て成しもできませんが  
…ない …だよね 同意を求めることば 「良かもんない」  
ないがしろ 古語【蔑】 侮って無視する  
ないたっちゃどい 泣いてもどうなるの  
ないちやがや ないちゃんば ないとさな なっちゃんば なるのですよ 《牛深》  
ないない 古語【内々】 内密に 密かに こっそり《京》  
ないば ならば できれば 《牛深》  
なう 古語【緬ふ】twist 撚り合わせる あざなう《日ポ》  
なえとる なえる《京》 なゆる【衰える】<sup>おろそ</sup>くたびれる  
なおざりーしとる 古語【等閑】neglect 疎か いい加減 random  
なおす 古語【直す】 正す 修理する ②片付ける 仕舞う 収納する ③隠す《京》  
なおらい なおりや 古語【直会】<sup>なほらひ</sup> 神事後、御神酒や神饌を下げて頂く酒宴《京》  
なおらん【直らない】 ②治らない 完治しない  
なおる 古語【直る】 正しくなる ②場所を移る  
なか【無い】nothing<sup>っ</sup> 無くなっている 「何もなか」  
ながあめ【長雨】 梅雨 梅雨期  
なかいにゃー なかいねー【仲担い】 二人で担う 逆天秤  
なかいや なかつな なかとね なかんねー 無いのか  
なかがー なかばえ 無いよ 無くなっているよ  
ながき〈長木〉 架け木 稲の架け乾しに使用する長竿  
なかぎゃー なかげー【仲買】broker  
なかこたなか 無いことはない 必ずある 少しは有る  
なかごたる 無いようだ 紛失したようだ  
なかごっしなる なかごつなる なかごてなる なかごとなる  
なかごんなる 無くなる 紛失する ②残らない

なかさね なかさん なきゃー なけー 中へ 中の方へ  
なかさん なかせん 泣かせない 悲しませない  
ながし 《日ポ》 ながしどき 梅雨 梅雨期  
ながじご ながじり 〈長尻〉 排便時間が長い ②長居  
なかじゃっかい なかじゃっきゃ なかじゃっけ なかもね 無いではないか  
なかす 泣かせる 悲しませる  
なかす なかつす なきなす なきなはる お泣きになる  
なかずみ【中墨】《日ポ》 建材の中心線 墨付けの中心点 仲裁  
なかすんな 泣かすな 悲しませるな  
なかせんか なかで なかでか 無いから  
なかたー なかもね なかとん 無いではないか  
なかたぎゃー なかたげー【仲違い】 不仲  
なかだち【仲立ち】 仲人 媒酌人  
なかたなか なかもんななか 何でもある  
なかつかい なかつかな なかつきゃ なかつけ 無いのか  
なかつたー なかつばい なかとばい 無いのだな  
なかつどかい なかつどかにゃ なかつどかね 無いのだろうか  
なかつばしノごて なかばしんごて 無いわけでもないのに  
なかでん【就中】 特に とりわけ なかでも  
なかとなろ なかとなろば 無ければ  
なかなか 古語【中々】 余程 かなり 随分 容易に  
ながなが【長々】 長い間 永久に  
なかなかなか 〈中々無い〉 滅多に無い 容易に見付からない  
なかにゃー なかなー なかねー 無いね  
なかばい なかばえ なかべー 無いよ 無いようだ  
なかはぎーなか なかはずなか 無い筈はない  
なかまうち【仲間】 companion 仲間同士  
なかまうち【仲間討ち】 同士討 仲間の争い  
なかまはずし 仲間から外す  
なかまわれ 仲違い 仲間が分裂する  
ながもち 古語【長持ち】 長櫃 衣装調度品入れ  
ながもてする 長く保時する 長い間使える ②持ちがよい  
なかもね 無いではないか  
なかもん 無いよ nothing 無いのだもの  
なかやすみ なかよくい なかよこい 小休止 休憩 rest  
なからんば なかろうば なかんなるー 無ければ  
なからんばん 無ければならない  
なかりーろ なかろうかい なかろかにゃ なかろかね 無いだろうか  
ながるる【流れる】 flow 世に広まる ②計画が中止になる  
なかればなかもん 中々無いものだ 中々見つからない

ながわずりゃー ながわずれー 長期の病  
なかん 泣かない ②鳴かない ③囀らない  
なかんな なかんね 無いのですか  
ながんなぎゃー ながんなんか 長さが長い 距離が長い  
なかんろう なかんらば 無いのであれば  
なぎ 古語【風】lull 無風で波穏やかな海  
なきおった なきよった 鳴いていた 囀っていた  
なきかぶる なっかぶる 泣きそうになる  
なきじょうご【泣き上戸】 (酒に酔って) 泣く癖のある人  
なきつく【泣き付く】 泣きすぎる 哀願する 無理に頼む  
なきなき【泣き泣き】 泣き乍ら 不承不承 嫌々ながら  
なきべす《京》 なきべそ なくべす なくべそ 泣き虫  
なきゃー なけー【中に】 「なきゃひゃーれ・なけへーれ」  
なぎゃー なげー 長い物 ②時間が掛る  
なきゃーた なけーた 泣かした ②悲しませた  
なぎゃーた《京》 なげーた【流した】 ②不成立にした  
なぐさむる【慰める】console 労る 宥める  
なぐさめ【慰み】amusement 気晴らし 癒す cure 慰安 ②弄び toy  
なぐる【投げる】 遠くへ投じる ②放る throw 放棄する 断念する  
なぐるる なぐれる 古語【なぐる】 墮落する 落ちぶれる 零落  
なぐれもん 落ちぶれた者 身を持ち崩した者  
なげく【嘆く】 悲しむ 悲しんで泣く 嘆息する  
なげつらかす【投げ散らす】 ぞんざいにする  
なごう なごうに【長く】  
なごうい なごうして なごうて 長くて 長すぎて  
なごうごたる なごごたる 泣きたい ②悲しい ③悔しい  
なごうなか なごうにゃー 長くない ②寿命だ 死期が近い  
なごうなごう なごなご《京》 長々と 長い間 延々  
なごうなる なごなる《京》 時間が過ぎる ②横になって休む  
なごうなんなっせ なごなんなっせ 横になってお寛ぎ下さい  
なごうひろう なごひろ 長く広く 永久に広範に  
なごうまで なごまで 長時間 longtime  
なごうみん なごみん 長い間、会っていない 姿を見ない  
なごごたる 泣きたい 悔しい 残念だ  
なごっさま なごっさん【夏越し】 厄払い神事  
なごなご 長々と 長い間 延々と  
なごびゃくしょう【名子百姓】 農地を持たない雇われ百姓  
なごりうーか なごろしか《島子》 古語【名残惜し】 名残尽きない  
なさけなか なさけンなか【情け無い】 残念だ  
なさけにゃーもん 情けないものだ 残念なことだ

なさけようしゃなか【情け容赦無い】 同情や許すことがない  
なさした 為された 為さった 「ゆうなさした」  
なさんな なすな なさいますな  
なしい なしかい なして 古語【何<sup>な</sup> 為<sup>にし</sup>に】 何故 why どうして  
なしーしなる なしーひなる 無くなる 消滅する  
なしーなす なしーひなす 無にする 無くしてしまう  
なくじーて 物事の解決をお座なりにする  
なしたり なんだり などして [見たんなしたり]  
なしてじゃいろ なしてじゃろかい 何故だか どうしてだか  
なしてな なしてね なしてや なしや 何故ですか  
なしでにゃ なしにゃ 無くては でなければ  
なしなしノぜん なしなしンぜん 無けなしの金  
なしなった 無くなった  
なじみ なじゅみ【馴染】 親しい関係 ②情婦 mistress  
なじゅうだ【馴染んだ】 調和した ②打ち解けた  
なすい《牛深》 なすくる なする 撫で付ける 塗り付ける  
…なすか …なはるか …なさいますか 「気張ンなすか」  
なすつつくる なすつつける 汚れを落とす ②責任転嫁する  
…なすな …なさいますな 「行きなすな」  
なすび《京》 なすーび【茄子<sup>ナス</sup>】 eggplant ナス科の一年草  
なすびんつう 茄子の蒂<sup>へた</sup>  
なずる【撫でる】 stroke 撫ぜる 軽くさする 《日ポ・京》  
なずる 古語【準<sup>なぞら</sup>ふ 擬<sup>なぞら</sup>ふ】 準える 似せる ②透け書き  
なすんば 乳歯から永久歯<sup>はずかい</sup>に変わる時の黒っぽい歯  
なそえ 斜めに添える 斜交<sup>なだ</sup> slant  
なだむる 古語【宥<sup>なだ</sup>む】 宥める 慰める console  
なだめすかす【宥<sup>なだ</sup>め賺す】 煽てて慰める  
なだめすきゃーて 機嫌を取り成して 気持ちを安らかにして  
なっかぶる〈泣き被る〉 泣きそうになる  
なっきる〈泣き切る〉 ひどく泣く 息を止めて泣く  
なっけ【菜漬】 pickles 高菜や白菜などを塩漬<sup>すいじ</sup>けにした食品  
なっしょ 古語【納所<sup>なっしょ</sup>】 禅寺で食料や供物の収納所 ②炊事 cooking  
なっしょかた 調理人 炊事婦  
なっしょしごつ なっしょしごと 調理 料理の仕事  
なっしょべた 家計の切り盛りが苦手 料理下手  
…なっせ …なはりまっせ …なさいませ 「来なっせ」  
…なった《京》 …なはった …なさった 「お出でなった」  
…なったー …位は …なりとも 「ちっとなった」  
なっだけなろうば なろうば できることなら  
なったごつ なったごて なったように

なっちやーおる 様になってはいる ②実っている  
なっちやいろ なっちやろかい なるのだろうか  
なっちやかろかい なつとじゃかろかい なるであろう  
なっちゆかい なつどかい なりーろ なるだろうか  
なつてんならでん なつてんならんでん なつてもならなくとも  
…なつと 古語【なりと】 …なりとも《京》「何なつと」  
なつどもん なるだろう  
なつとらん なつていない 出鱈目だ《京》 ②実っていない  
なつとる なつている ②枝に付いている 実っている  
なづな【薺】<sup>ナズナ</sup> ペンペン草 シャミセン草 (春の七草)  
なづらんよか 人当たりが良い  
…なつとん …なりとも …でも 「お茶なつとん」  
なでくりまわす なでくつつらかす なでまくる 撫でまわす  
なでくる 撫でる **stroke** 《京》  
なでつくる【撫で付ける】 ②こつてり油を付けて整髪する  
なでぼとけ【撫で仏】<sup>びんづる</sup> 賓頭廬尊 (十六羅漢の一人)  
…ななか …は無い 「銭ナ無か」  
…なな …しては駄目だよ 「来んなな すんなな」  
なにーいらん なにやーいらん 何とも知れない無駄なもの  
なにーくわんつら 知らぬ顔 何も知らない振りをする  
なにーきってきんなるか 何の役にも立たない 役立たず  
なにーでん なんにでん 何にでも  
なにーンならん なにンならん 何にもならない 役立たない  
なにがなぼしか 古語【何がな欲し】 何か食べたい お腹が空いた  
なにがなんでん 何かあろうとも 是が非でも  
なにくれとなく なんくれとのう 何やかやと 色々と  
なにしてん なんしてん 何をしても 何れにせよ  
なにしてん なにしてーん なんしてーん おやまあ《新和》  
なにせ なんしろ なんせ 何しろ 何れにせよ  
なになるか なになろきゃ なになろーに 何になろうか  
なにやー 何は あれは (ことばに詰まった時のせりふ)  
なにやーいらん 何とも知れない無駄なもの  
なぬか《京》 なのか 古語【七日】<sup>たけ・きのこ</sup>  
ナバ 《ポルトガル語》 **naba** 茸 **mushrooms** 「白なば」  
…なはい …なはり …なさい 「戻んなはり」  
…なはる …なさる《京》 「来なはる」  
なばんごつ 茸のように 萎えて 疲れて 疲弊して  
なばんごつなる なばんごてひなる なびやーなる 萎える 活力が無くなる  
…なほんな …なさいますな 「飲みなほんな」  
なびく 古語【靡く】<sup>なび</sup> 横に流れる ②心が傾く ③従う

なぶる【𪗇る】 からかう **tease** 弄ぶ 虐める<sup>いじ</sup> 《京》  
なま【生】 元の状態 刺身 煮えていない ②不十分  
なまあくび【生欠伸】 中途半端な欠伸  
なまおぼえ 古語【生覚え】 うろ覚え  
なまがわき なまひやがり 生乾き 乾燥不足  
なまくさか 古語【生臭し】 **fishy** 生の魚や肉の匂い 血腥い<sup>なまくさ</sup>  
なまくさけ 古語【生臭気】 酒の肴<sup>さかな</sup> 魚料理 魚っ気  
なまくさもん 古語【生臭】 **fishy** 酒の肴 魚料理  
なまくさぼうず【生臭坊主】 戒行を守らない僧  
なまくら【鈍ら】 切れない刃物 ②怠け者《京》  
なまくる【怠ける】 **neglect** ずぼら 怠慢 物臭 **indolence**  
なまじ 中途半端 なまじっか なまはんか へたに  
なましか【生々しい】 **fresh** 枯れていない 乾いていない  
なます 古語【鱠】 野菜に魚肉を加えた酢和え  
なまぢけ〈生血気〉 お産後の容体 産婦  
なまつば【生唾】 美味しそうな食物を見たとき出る唾液  
なまにえ【生煮え】 半熟 **soft-boiled** 未熟  
なまぬるか【生温い】 冷めた ②手ぬるい《日ポ》  
なまはんか【生半可】 中途半端 なまじっか へたに 不十分に  
なまひやがり【生渴き】 半乾き  
なまぼし【生干し】 一夜干し 不完全乾燥  
なまぼとけ 死体<sup>しかばね</sup> 屍 遺体 亡骸 死骸  
なまもん【生物】 鮮魚類 刺身肴 ②生野菜 **greens** 《日ポ》  
なまやけ【生焼け】 生焼き(肉の焼き具合) **rare**  
なまんこっじゃか 普通の程度を超えている 大儀だ  
なまんゆうじんせんば 並以上 特別に 余程、用心しないと  
なみかぜたつんな 古語【波風】 風波 もめ事を起こすな  
なみゆうかい なみゆうだ (刺身や副食品を) 食べましよう  
なむい 刺身や副食品を食べる《牛深》  
なむる【舐める 嘗める】 **lick** しゃぶる ②刺身や副食品を食べる  
なむる 侮る 見下す ②辛い経験する ③燃え尽きる  
なむんなえ なむんなぞ 嘗めるな<sup>な</sup> ②侮るな<sup>あなど</sup> 軽く見るな<sup>もろみ</sup>  
なめじょい〈舐め醤油〉 醤油の諸実  
なめたくる なめづる 古語【舐めづる】 舐め回す  
なめとる 侮る 軽く見ている 見くびっている  
なめなっしえ 魚・副食品を食べませんか  
なや【納屋】 **barn** 物置小屋 《京》  
なゆる 古語【萎ふ】 萎れる 萎縮 力が抜ける《日ポ》  
なら一っと 整然と並んで ②同列に 同等に  
ならくノどんぞこ 古語【奈落】《梵語》 地獄の果て

ならした お為りになった なられた 「為った」の謙讓語  
ならしならし 慣らしながら どうか慣れる 馴らして  
ならず 鳴る 雷鳴 お鳴りになる (事象敬語)  
ならず ならむる【均す】 level 平坦にする 平均 average  
ならず なれかす【馴らす】 飼い馴らす 調教する  
ならるっど なれるはずだ  
ならわし 古語【習はし】 custom 習慣 風習 しきたり  
…ならん …してはならない ②…出来ない 「来いならん」  
なり【身形】 服装 装い 立ち居振る舞い  
…なり …きり …まま するやいなや [面見るなり]  
なりあがり 古語【成り上がり】 出世する 金持ちになる  
なりき【成り樹】 果樹 fruit tree 果物がなる樹  
なりくだ なりもん《京》【成り果物】 果物 果実 fruit  
なりこ 果実の形 形状 「なりこんわるか」  
なりさがる 古語【成り下がる】 落ちぶれる ②たわわに実る  
なりそくにゃー なりそこにゃー なりそくねー なり損ね  
なりふりかまわんで …かんまず 身形や格好を構わないで  
なりもんいり 三味線や太鼓で賑わう  
なりゃーごと なれーごつ【習い事】  
なりわい 古語【生業】<sup>なりはひ</sup> living 職業 ②農業 agriculture  
…なる …なさる …される《京》 「来なる」  
なるうた なるうた【習った】 学習した 教わった  
なるうで なるうで なるで【並んで】 同列で 揃えて  
なるうどる なるうどる 並んでいる  
なるえ なるゑ【習え】 学べ 学習しろ  
なるば なるばっ ならば できれば けど《下浦 新和》  
なるべくそうろう なるようにしかならない  
なるみゃー なるめー ならないだろう なるまい  
なるる 古語【慣る】 慣れる 熟練する 上手になる  
なるる 古語【馴る】 馴れる 馴染む<sup>なっ</sup> 懐く  
なるる 古語【熟る】 熟成する 「味噌ン塾るる」  
なるわすい《牛深》なるわする 古語【習はす】 学ばせる  
なるわん 習っていない 教わらない  
なるをー 習いたい 教わりたい  
なれかす 古語【馴らす 慣らす】 練習して慣れ親しませる  
なれたもん 手慣れている 熟達している  
なれなれ 果樹を「なれン棒」で叩く正月行事  
なれなれしか 古語【慣れ慣れし】 慣れ親しんでいる  
…なれば …ならば《京》 「すっとなれば」  
なれやー 古語【馴れ合ひ】 慣れ親しんだ友達

なれんぼう 川柳の表皮を削った棒 御幣の原型  
…なる …なら …であれば 「良かなる」  
なろうで なるで【並んで】 同列で 揃えて  
なろうば なるば 出来れば 出来ることなら であれば  
なわさした なわしなした 隠された 仕舞った 片付けた  
なわしこくる 用心深く隠す 仕舞う  
なわしろ 古語【<sup>なはしろ</sup>苗代】 苗床 稲苗を育てる床  
なわす 古語【直す】 **correct** 正す 修理する ②片付ける 仕舞う 収納する  
③隠す《京》

なわす【治す】 病気や怪我を治癒させる  
なわってねろ 転た寝しないで正式に寝床に着いて寝ろ  
なわなう【<sup>な</sup>縄<sup>う</sup>縋う】 藁など<sup>よ</sup>搓って縄をつくる  
なわる 直る **recover** ②場所を移動する 移転する  
なゑえーとく なゑやーとく 仕舞う 片付ける ②隠す  
なゑやーた 修理した ②片付けた 仕舞った ③隠した  
…なん …ですか …ですか 「おらすかなん」  
なんいいなすか なんべいいなすか 何を仰いますか  
なんいうか なんいうとかい なんいうとな 何だと言うのか  
なんか【長い】 **long** 物が長い 時間が長い ②間隙がある  
なんかい なんかな なんかなん なんかん なんきやー  
なんかかい 凭れ掛かる 寄り掛かる ②頼りにする《牛深》  
なんかか<sup>もた</sup>る 凭れ掛かる 寄り掛かる ②頼りにする  
なんかくい 立ち掛ける ②責任を負わせる《牛深》  
なんかくる なんかける 立ち掛ける ②責任を負わせる  
なんかたなかかな 長い物はないですか  
なんがなー ねなんがー なんがや なんやー 何ですか  
なんかなかかな なんかなかきや なんかなかな 何か無いか  
なんがなんでも なんがなんでん 是非とも どうしても  
なんぎ 古語【難儀】 難渋 苦勞 辛い思い《日ポ・京》  
なんぎはなし なんぎなし 何の気は無く 悪気ではなく  
なんきやー なんけー《五和》 何ですか  
なんぎやる【<sup>カボチャ</sup>投げ遣る】 投げ捨てる 放棄する  
ナンキン **pumpkin** 南瓜の異称（瓢箪型） ウリ科の一年草  
なんきんまめ【南京豆】 落花生 **peanuts**  
なんくうだ なんこうだ 投げ込んだ  
なんくりかえし 山の向い側の迫  
なんくりかやす なんくりやる 投げて逆さにする  
なんけー なんねー なんやー 何ですか 何だい 何だよ  
なんごつ なんごつな なんごつね 何事ですか  
なんこむ 投げ込む 投げ入れる



なんこやし 山の裏側

なんころびなっせ 寝転んで下さい《新和》

なんころぶ 寝転ぶ

なんさすと なんしなすかなん 何をなさいますか

なんさま 《日ポ》 なんさん 古語【何様】 兎角 何しろ 如何にも 甚だ

なんさまかんさま なんさんかんさん 何はともあれ 何分 兎角

なんじあるー なんじあるかい なんじあんね 何時ですか 「5時ある」

なんしーが なんしーぎゃ 何をしに

なんしえ(せ) なんしろ 何しろ 何分 兎角

なんしても なんしてん 何をしても 何れにせよ

なんじゃい なんじゃいろ …じゃろかい 何だか 何だろう

なんじゃかんじゃ 古語【何や彼や】 なんだかんだ

なんじゃった なんじゃったつや 何であったか

なんじゃったろば なんじゃれば もしも何なら

なんじゃろかい なんちゅう なんちゅかい 何だろうか

なんじゃもん なんじゃろもん なんじゃん あれだよあれ ②ことばに詰まった時

なんしゅうかい …きゃー …けー …ろ 何をしようか

なんじゅうしとる 古語【難渋】 悩み苦しんでいる

なんしゅうぞ 古語【何せうぞ】 何をしようと

なんしゅうに なんすつか なんするか 無駄なことだ

なんしよ 何でしょう 何だか判りますか

なんしよいとか なんばしよいとか 何をしているのか 《牛深》

なんしよいはなか 何もしようが無い 何もできない

なんしよっとー なんしよっとか …きゃー 何をしているのか

なんしよるっか なんばしよるっか 何をしているのか 《佐伊津》

なんしろ なんせ 何しろ とにかく

なんすっちゃ なんすってちゃ 何をするにしても

なんすっとー なんすっとか 何をするのか

なんせんばん どうにかする (ことばに詰まった時)

なんぞ 古語【何ぞ】 何か 何であるか どうしてか

なんたるこっか なんたることか 何と云うことか

なんちー …ちさい …ちなー …ちなん …ちやー …てやー

何ですか 何だい 何だって

なんちか なんちゅか なんちゅかい 何だろう

なんちでん なんてでん 何とでも

なんちやよか なんでんよか 何でも良い

なんちゅう《新和》 なんて なんてや 何ですか 何だって 何だよ

なんちゅう なんちゅかい 何だろうか

なんちゅうこたなか 殊更言うことでもない

なんちゅうこっか 何と云うことか

なんちゅうたっちゃ なんちゅうてん 何と言っても  
なんちゅうとかい なんちゅうとね 何だと言うのか  
なんちゅうふうか 何と言う風体か 無様な様子か  
なんてー なんてさい なんてな なんてや なんや 何ですか  
なんでじゃい なんでじゃいろ なんでじゃろかい 何でか  
なんでな なんでね なんでや 何ですか どうしてですか  
なんてろん なんてろんかんでろん 何やら 何や彼や  
なんでんかんでん 何でも彼でも 何も彼も 総て  
なんでんなか なんもじゃか 何でもない  
なんど 古語【納戸】 衣類や調度品を収納する所《京》  
なんとはなし 古語【何とは無し】 何と言うことはなく  
なんともしれん なんとんしれん 何とも知れない  
なんともつくれん なんとンつくれん 何の役にも立たない  
なんなつと 何なりと 何かに《京》  
なんなら なんなろば 良かったら 良ければ 都合では  
なんなんかな なんなんな 何々ですか  
なんになるか なんになるろーきや なんになろうに 何にもならない  
なんの 古語【何の】 何で 何ほどの ②どういたしまして  
なんのかんの 古語【何や彼やで】 様々で《日ポ・京》  
なんのこたーなか 思ったほどではない ②簡単なことだ  
なんのたしーもならん 何の足しにもならない  
なんのだんじゃか 何の算段もできない ②構って居れない  
なんのにゃ なんのま 否違ふ 何でもない ②どういたしまして  
なんバ 何を あれを ②ことばに詰まった時に言うことば  
なんバいうか なんバいうとね 何だと言うのか  
なんばな なんばね なんばや 何をですか  
なんばんがき【南蛮柿】<sup>イチジク</sup> 無花果 日本初<sup>ポルトガル</sup>葡萄牙より天草移植  
ナンバンキビ【南蛮黍】 モロコシ 唐黍  
なんべんちゃ なんべんでん【何遍も】 何度も **many a tim**  
なんぼ どれだけ いくら ②どんなに 如何に《京》  
なんぼなんでん 如何なる理由があろうとも 如何にも  
なんもかも なんもかんも 何もかも 何でも  
なんもござっせんばって 何もございませんが  
なんもじゃか 何でもない 気に掛けることではない  
なんもせん 何もしない 怠けている  
なんもなかばって 何もありませんが  
なんもにゃー 何もない お持て成しができない  
なんや 何ですか 何だい  
なんやかんや 古語【何や彼やで】 色々で 様々で《京》

[トップページへ戻る](#)